

新発田市教育委員会令和6年9月定例会 会議録

○ 議事日程

令和6年9月6日（金曜日） 午前9時30分 開 会
豊浦庁舎 2階 教育委員会会議室

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 前回定例会会議録の承認について

日程第3 教育長職務報告

日程第4 議事

議第16号 専決処分の承認について

（令和6年度新発田市一般会計補正予算（第4号）について）

議第17号 専決処分の承認について

（令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価等に関する議会への報告について）

議第18号 専決処分の承認について

（令和5年度新発田市一般会計決算について）

議第19号 令和6年度全国学力・学習状況調査結果の公表について

日程第5 その他

○ 会議に付した事件

議事日程に同じ

○ 出席者

工 藤 ひとし 教育長
石 坂 均 委員（教育長職務代理）
笠 原 恭 子 委員
村 川 孝 子 委員

○ 説明のため出席した者

教育次長 橋 本 隆 志
教育総務課長 坂 上 新 一
学校教育課長 彌源治 仁 伺
学校教育課教育センター長
阿 部 英 幸

文化行政課長 宮 崎 由 香
中央図書館長 庭 山 恵
生涯学習課長 井 浦 智 明
青少年健全育成センター所長
古 田 潤 子

○ 書 記

教育総務課長補佐 阿 部 成 美
教育総務課教育総務係長
小 島 貴 志

○ 議 事

○工藤教育長

ただいまから教育委員会の令和6年9月の定例会を開催いたします。

○工藤教育長

それでは会議に入ります。

はじめに、「日程第1 会議録署名委員の指名について」であります。笠原委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

次に「日程第2 前回定例会会議録の承認について」お諮りをいたします。既に送付してあります会議録について、御質問等ございましたらお願いいたします。

○工藤教育長

御意見、御質問がないようですので、承認の方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、8月定例会の会議録は承認されました。

次に「日程第3 教育長職務報告」を行います。職務報告につきましては、既に送付してあります「教育長職務報告（令和6年7月22日～令和6年8月31日分）」のとおり報告いたします。委員の皆様から御質問等ございましたらお願いいたします。

○工藤教育長

御意見、御質問がないようですので、「教育長職務報告」について、承認の方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、「教育長職務報告」は承認されました。

○工藤教育長

それでは、「日程第4 議事」に入ります。

はじめに、「議第16号 専決処分の承認について（令和6年度新発田市一般会計補

正予算（第4号）について）」の審議を行います。

橋本教育次長から説明をお願いします。

○橋本教育次長

おはようございます。それでは議案の1ページであります。議第16号につきましては、令和6年度新発田市一般会計補正予算（第4号）のうち、教育委員会所管分について市議会9月定例会への議案上程期限に間に合わせるため、教育長の専決処分とさせていただきます。この件について、教育委員会の承認を得たいというものでございます。

内容につきましては議案の3ページの表を御覧ください。3ページの表の下段、歳出から説明を申し上げます。

一番目、教育総務課に関する内容といたしまして、市内小学校図書館の図書購入費に活用していただきたいというご寄附をいただけることとなりましたので、300万円増額計上するものであります。

二番目、中央図書館であります。一つ目は、今年度正規職員が年度途中で退職したことに伴い、会計年度任用職員を代替雇用するために必要となる経費の計上、二つ目は図書の購入に充てていただきたいというご寄附をいただけることとなりましたので、計上するものになります。

一番下、青少年健全育成センターであります。こちらにつきましては、御免町第2児童クラブで使用しているエアコンが壊れたため、修理に要する経費を計上するというものであります。

上段、歳入であります。教育総務課の関係は歳出で説明いたしました寄附の歳入計上、中央図書館も同様に寄附をいただける部分の歳入計上をさせていただきますというものであります。説明は以上です。

○工藤教育長

説明が終わりました。委員の皆様から御質問等ございましたらお願いいたします。

○工藤教育長

御意見、御質問がないようですので、「議第16号 専決処分の承認について（令和6年度新発田市一般会計補正予算（第4号）について）」を承認される方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、議第16号は承認することに決しました。

次に、「議第17号 専決処分の承認について（令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価等に関する議会への報告について）」の審議を行います。橋本教育次長から全体の概要説明の後、各担当課長等から施策の説明を受け、その後に質疑を受けたいと思いますのでお願いいたします。それでは最初に、橋本教育次長からお願いいたします。

○橋本教育次長

それでは、議案書については5ページになりますが、資料に基づいて説明します。

はじめに、行政評価の関係であります、教育に関する管理及び執行の状況の点検・

評価に関する議会への報告ということで、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、市教育委員会が所管する部分について毎年度点検・評価を実施して、その結果を議会に報告し、市民に公表すると規定されております。新発田市の場合は、教育委員会を含めまして、全ての市長部局、行政委員会含む事務事業を行政評価という形で、まとめて報告、公表を行っております。

その行政評価の全体について、またその中の教育委員会の部分について、概要を私の方から説明させていただきます。説明に使用する資料につきましては、別冊の表紙「令和5年度新発田市行政評価報告書」という冊子になります。

それでは行政評価報告書の表紙をめくっていただきまして1ページ中段、項目2番にございます、「まちづくりにおける行政評価の役割」についてであります。現在、自治体においても、市民、議会の声を反映しながら着実にまちづくりを進めていくということで行政評価の方式をとっております。

新発田市としましては、①にあります、健全な行政経営と②にあります、市民との協働を重要視して進め、その評価結果が施策へ反映されるよう取り組んでおります。

めくっていただきまして2ページを御覧ください。2ページ上段に新発田市まちづくり総合計画と行政評価の関係という項目がございます。中段に模式図がございますが、二階堂市長が進める将来像は、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」という将来像を掲げており、その実現に向けて新発田市のまちづくりを進める上で、最上位計画であります新発田市まちづくり総合計画がございます。その計画を毎年度実施し、年度ごとの実施状況を確認・評価して、翌年度の計画の進捗に反映させるという仕組みを表している図であります。今回は下の方の行政評価システムについて、令和5年度の事業の実施状況、進捗状況をまとめたものが行政評価結果であります。

次に3ページの図を御覧ください。まちづくり総合計画の施策体系ということで、一番左側が先ほど申し上げました、市の目指す将来像であります。中央の部分ⅠからⅤまでが基本目標として、5つの体系に分かれております。教育に関しては、中段Ⅲの「教育・文化」という部分になります。さらにその右側に、1「学校教育」から5「文化芸術・文化財」という施策により、「教育・文化」の基本目標を進める構成となっております。今回は、「教育・文化」の部分についてのみ、説明させていただきます。

4ページを御覧ください。令和5年度の施策評価結果は、全体としては、80.33%の達成状況となりました。アルファベットのAからEまでの5段階でそれぞれの評価を行っております。

教育につきましては、資料7ページをお開きください。Ⅲ「教育・文化」に関してであります。令和5年度の評価結果としては、5つの施策の平均であります。84.34%ということで評価区分Aとなりました。ただし、下の表に施策が5つございますが、残念ながら一番目の学校教育については60.80%ということで、B評価になっており、それ以外はA評価となっております。

最後に、資料の13ページを御覧ください。施策ごとの事務事業の評価結果の割合を示した円グラフがあります。黒い部分が目標通り達成できた割合でありまして、81%となっております。白い部分が目標に若干が届かなかった、あるいは達成ができなかった割合を示すものであります。

事務事業全体の割合の達成状況を見ますと、他の施策に比べ、教育については、目標通り達成した割合が多くございますので、頑張ってきている状況であります。私の方か

らの全体概要の説明は以上になります。この後、5つの施策ごとに担当課長等から説明をいたします。

○工藤教育長

ありがとうございました。それでは施策ごとに、各課長等から説明いただきたいと思います。最初に学校教育について、彌源治学校教育課長から説明をお願いいたします。

○彌源治学校教育課長

令和5年度施策評価表を使って説明いたします。まず一つ目の「しばたの心継承プロジェクトの推進」でございます。令和5年度の実績値につきましては、小学校で92.7%、中学校で86.5%ということでございますので、小中学校とも地域に対する興味や関心が高まったと感じる児童生徒の割合については、目標値を大きく上回っております。モデル校の実践を生かした教育活動が、モデル校以外でも行われた成果が現れたものと捉えております。

今後の取組みといたしましては、学校担当者研修を行いながら、効果的な学習活動の取組みについて習得を図ってまいります。また、地域コーディネーター研修等を行いながら、コーディネーターの資質能力の向上も図ってまいります。また、地域との連携・協働した活動を積極的に行ったり、外部への情報発信を工夫しながら、各学校の取組みへの市民の関心を高めるよう努めてまいります。

二つ目であります。「小中学校の学力向上及び個に応じた学びの充実」についてであります。小学校中学校のNRT学力検査結果でございますが、令和5年度の実績値は、小学校50.3%、中学校で47.7%という状況でございます。目標としている数値には達成していない状況であります。

過去10年間の推移を見ますと、小学校では平成28年度、中学校では平成30年度をピークに数値が減少し続けておりますので、大変厳しい状況であると認識しております。これまでも組織的な学力向上や学習環境づくり、学級経営について支援を行ってまいりましたが、この下降傾向に歯止めをかける状況にはまだ至っておりませんので、抜本的な取組みが必要となっていると考えております。

今後の取組みであります。10年間の学力実態を学校と共有するとともに、市内の学校における自校の位置づけ、または、学力状況を把握・分析しながら、具体的な学力向上策を策定し、実行してまいります。また、学力検査の結果について、成果がなかなか上がらない学校につきましては、指導主事による研修や指導等も重点的に行ってまいります。また、学力検査結果の十分な分析と指導方法の改善を図れるように、教員の負担軽減策として、スクールサポートスタッフの配置拡充や部活動の地域クラブ移行への加速化などについても同時に取り組んでまいります。

2ページ目になります。「差別、いじめを許さない心の育成及び不登校対策」についてでございます。小学校、中学校の不登校の発生率について、令和5年度は小学校で1.75%という実績値が出ております。目標値と比較して、大変厳しい結果となっております。中学校についても7.89%となっております。不登校がなかなか減らないという現状があり、目標値には至っておりませんが、いじめ、不登校の対応については、内容が大変複雑化しており、引き続き人権教育、同和教育を中核に据えながら、児童生徒・教職員・保護者それぞれに応じた研修等により、差別やいじめを許さない心の育成及び

不登校対策の取組みをより一層進めていく必要がございます。

今後につきましては、各学校における長欠児童生徒の状況を把握し、電話連絡や訪問等を通して必要な支援を行ってまいります。また教職員向けの研修会としまして、同和教育主任研修会、自殺予防研修会、児童虐待防止研修会、特別支援コーディネーター研修会等、様々な研修会を繰り広げながら、資質向上を図って参りたいと思っております。また、新発田市教育支援センター車野校での活動の充実も図っていく予定でございます。学校以外の安心して過ごせる居場所となり得る車野校への通室を通して、地域住民との交流やサポート指導員等の対応により、心の安定を目指してまいります。また、より多くの児童生徒が活用できるよう、広報活動も積極的に行ってまいります。

四つ目に「食育の推進」についてでございます。令和5年度の目標値84.0%に対して、実績値が82.2%ということであります。毎日朝食を食べている子どもの割合については、令和4年度の実績値からわずかに減少しております。令和5年度の目標値を下回る結果となりましたが、朝食を食べない理由として、やはり時間がない、食欲がない子どもの割合が高くなっております。朝食の必要性や朝食の質について、食育出前講座や家庭向けの食育啓発リーフレット等で伝えるほか、子どもたちに基本的な生活習慣が身につくよう取り組んでいくことがやはり大事だと思っております。

今後の取組みとしましては、「食とみどりの新発田っ子プラン」では、「食育の基本は家庭から」の考えの下で、食育に取り組んでいる家庭における食育への意識向上や関心を高めるための取組みを後押ししてまいります。また、朝食を食べることを習慣として身につけるには早寝早起きを実践するといった、基本的な生活習慣を形成することが重要でありますので、この啓発用リーフレットを通して、「早寝早起き朝ご飯」の大切さを、引き続き伝えてまいりたいと思っております。以上でございます。

○工藤教育長

続きまして、政策の「学校環境」につきまして、坂上教育総務課長から説明をお願いしたいと思います。坂上教育総務課長お願いいたします。

○坂上教育総務課長

資料3ページを御覧ください。学校環境におきましては、基本方針の子どもが安心して学ぶことができる学校環境が整備されたまちを目指しており、子どもたちが快適に学ぶことができるよう、学校施設の整備や改修を行うとともに、ICT環境の充実を推進し、また通学路の点検により、安心して通学できる環境を整備することとしております。具体的な施策の展開については、三つ挙げております。

一つ目の施策「小学校の学校規模の適正化の推進」についてであります。中学校区単位での小学校の統合を進めておりますが、この計画策定時の小学校数は19校でありました。令和3年4月に七葉中学校区の2校、豊浦中学校区の4校の統合を行いまして、小学校数は現在15校となっております。教育委員会といたしましては、紫雲寺中学校区の3校の統合を行い、最終的な目標値を13校としております。紫雲寺中学校区の統合につきましては、令和7年4月1日とすることで、市議会令和4年9月定例会において議決をいただいております。統合に向け施設の整備や遠距離通学支援体制の構築など、現在年次計画で準備を進めているところでございます。

次に二つ目の施策「安心・快適な学校施設等の整備」につきましては、成果指標は、

新発田市学校施設等長寿命化計画に基づく改修の件数としております。令和5年度は、川東中学校の長寿命化改良工事を実施完了しております。また、トイレ洋式化率については、令和5年度末時点で洋式化率は95.6%であります。この事業は、これまでもコロナ交付金や、加治川地域においては、過疎対策事業債を活用するなど財源確保に努めながら進捗を図っているところであります。

また、通学路の安全対策といたしましては、毎年8月に教育委員会と市道、県道、国道の各道路管理者、警察と合同で「新発田市交通安全対策プログラム」に基づき、合同安全点検を実施し、危険箇所の把握、交通安全対策を講じております。

この施策の今後の取組みといたしましては、引き続き学校施設の長寿命化を年次計画で進め、併せてバリアフリー化、エレベーターの設置、防犯カメラ等の防犯対策の強化、学校照明器具等のLED化によるゼロカーボンの取組を展開してまいります。学校給食調理場につきましては、老朽化した調理場については廃止し、再編整備を進めてまいります。

めくっていただきまして4ページをお願いいたします。三つ目の施策は、「ICT教育の環境整備」についてであります。成果指標は児童生徒1人1台タブレット端末の配備台数としております。タブレット端末については、令和2年度末に全児童生徒に配備済みであります。

今後は、端末の耐用年数が5年と言われておりますことから、端末機の更新を進めることとなりますが、多額の費用を要することから財源確保に努め、さらにGIGAスクール環境の充実が図られるよう進めてまいります。説明は以上です。

○工藤教育長

続きまして、「生涯学習」につきまして、井浦生涯学習課長から説明をお願いいたします。

○井浦生涯学習課長

施策「生涯学習」につきましては、市民の生涯学習活動を充実させるため、多様化するニーズに応えた事業を推進するとともに、学習活動を幅広く支援し、市民の健康増進、人材育成に努めることを基本方針としております。

生涯学習センター、各地区公民館、中央図書館、歴史図書館等を活動の拠点施設とした事業が本施策の対象となっており、施策の展開の進捗状況と今後の取組みについては三つ掲げております。

一つ目の取組であります、「市民の生涯学習活動の充実」であります。公民館事業等の参加者人数の人口に対する割合で評価しております。目標値と実績値を御覧ください。アフターコロナにおいて、大勢の活動に対する制限がなくなったことで、おかげさまで計画通りに事業が実施できました。令和5年度は実績値が18.6%となり、目標値を大きく上回る結果になりました。なお、予算等の関係で事業数は限られておりますが、例えば去年ですが、子どもの夏休みの事業で定員30名に対して120名の申し込みがあったことから、例年1回事業を実施しているところを3回実施し、合計で90名が事業に参加しました。今後も市民のニーズに応じて、市民の生涯活動が継続的に活発に行われるよう提供していきたいと考えております。

二つ目の取組みです。「市民の生涯学習活動に対する支援」であります。成果指標は

公民館施設等の稼働率となっております。一つ目の取組みと同様に、コロナウイルス感染症の影響が大きく、令和2、3年度は目標値を大きく下回っておりました。4年度と昨年度は目標値まで近づいた結果となっており、定期利用団体を中心に、各施設で充実した学習活動を行っています。

実績値が目標値に達しなかった理由としましては、施設利用団体の解散が大きく影響していると思います。コロナウイルス感染症の影響もあって、高齢者の団体の活動が3年停滞したことにより、解散するとの連絡、問い合わせ等が結構ありました。資料にはないのですが、社会教育認定団体が10年前は452団体ございました。昨年度は353団体で、100団体も減っているため、今後は活動団体が増えるよう頑張っていきたいと考えております。

三つ目の取組みは、「生涯学習の拠点施設としてすべての市民の学びを支える情報拠点たる図書館の管理運営」です。成果指標は、図書館貸出者数の人口に対する割合となっております。目標値に1.6ポイント及びみせんでしたが、前年度の実績値を上回り、コロナ禍前の水準に戻ってきたと言えます。その要因としては、生涯学習支援のために、乳幼児から高齢者まで、幅広い市民ニーズで対応したことや、子ども読書活動推進計画を推し進めるために、資料・情報の収集を行い、学校との連携を図り、本の利用環境の整備やサービスの向上に努めたことに加え、複合施設内の図書館としての関係機関団体が企画する事業との連携が有効であったと言えます。

今後も引き続き、多様化するニーズに応えられるよう、資料や情報の収集を継続し、SNSの活用や広報の手法範囲を広げるなど、情報発信を強化して利用促進を図るとともに、誰もが利用しやすい読書環境の整備に努め、新発田市子ども読書活動推進計画に基づいた取組みを学校など関係機関と連携し、若者の読書率向上を目指してまいります。説明は以上です。

○工藤教育長

続きまして、「青少年育成」につきまして、古田青少年健全育成センター所長から説明をお願いいたします。

○古田青少年健全育成センター所長

施策「青少年育成」につきまして、7ページをお願いいたします。社会全体が一丸となり、青少年の健全育成に取り組むまちを施策の基本方針に掲げ、大きく三つの事業を展開してまいりました。

一つ目の取組みとして、「全市的な青少年健全育成活動の実施」でございます。新発田青少年健全育成市民会議が中心となって事業を推進しております。目標値である青少年健全育成活動に参加した市民の数は、前年度と比較すると35%ほど増加しておりますが、目標値には届いておりません。コロナウイルス感染症が5類に引き下げられましたが、参画しやすい環境が整えられなかったことが大きな要因となっております。

今後につきましては、関係団体と協力しながら、計画通り事業を実施できるよう支援し、引き続き青少年健全育成を推進していきたいと思っております。

二つ目は、「放課後児童クラブ指導員の資質向上」でございます。放課後児童支援員研修の計画的受講により、令和5年度実績値89%と目標値を上回る結果でございます。今後も引き続き、放課後児童クラブ指導員の確保及び資質の向上を図り、安定した

児童クラブ運営及び児童の安全安心な生活の場を確保してまいります。

三つ目の取組み、「体験活動の機会充実」でございます。青少年宿泊施設の宿泊実績については、令和5年度、宿泊者数は667人で、前年度の6倍、日帰りの利用者数は1983人で、コロナ禍前の令和元年度の約1.2倍となっております。宿泊を合わせた全体の利用者が順調に伸びております。今後も、宿泊を伴う防災キャンプ等のプログラムの商品化をさらに進め、宿泊者数の増に繋げてまいります。また、幼児から小学生までが気兼ねなく遊んでいただける児童センター「ユウネスしばた」は令和5年5月にオープンいたしました。令和5年度だけで利用者数3万人を超えており、市民に喜ばれる施設となっております。説明は以上でございます。

○工藤教育長

次に、「文化芸術・文化財」について、宮崎文化行政課長をお願いします。

○宮崎文化行政課長

「文化芸術・文化財」につきまして御説明させていただきます。施策の主管課としましては文化行政課で、中央図書館、歴史図書館が関係課ということになってございます。施策の基本方針としましては、「歴史や文化、芸術が身近に感じられるまち」を基本方針としまして、三つ事業を展開してございます。

一つ目は、「新発田市の文化財の適正な保存・活用」についてです。市内の指定登録文化財の件数を施策の指標としてございます。令和5年度につきましては、市の蔵春閣も含めまして新たに4件国登録有形文化財に登録されたことにより、88件から92件となりまして、目標値を上回ってございます。

今後の取組みとしましては、新発田市文化財保存活用地域計画の推進体制であります。協議会を設置し、各種事業に取り組むということにしております。また、文化財保存活用という面で、今年度から土橋門の復元に着手しておりますが、土橋門の復元に向けた事業を推進していきたいと考えております。また、新発田城の耐震補強については、今後、耐震補強に向け、専門家の指導を仰いで文化財の保存を図っていきたいと考えております。

二つ目としまして、「市民の文化芸術活動の発表の場と文化芸術に触れる機会の充実」を挙げております。成果指標としましては、市民文化会館における文化芸術活動発表の機会の回数となっております。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となりましたことから、文化芸術活動の発表の機会が回復しまして、目標値であります52件に対しまして58件ということで上回っております。若手アーティストの発表の機会や障がい者アート展などの新たな発表の機会もありまして、目標値を上回っている実績となっております。また、市民文化会館だけではなく、先ほど文化財登録が叶いました蔵春閣の活用として、蔵春閣と市民文化会館のコラボ企画なども行いまして、文化芸術に触れる機会の充実を図っております。

今後といたしましては、市民文化会館を拠点とした隣接の麓谷虹児記念館や蔵春閣なども活用しまして、文化芸術に触れる機会の充実を図ってまいりたいと思います。また、若年層の市民の方が文化芸術に親しむ機会としまして、今年度であれば、先週行われた幼児向けのNHK番組「はなかつぱ」のショーなど、赤ちゃん、お子様からその親御さんまで一緒に市民文化会館へ来ていただける機会の充実も図っております。

続きまして10ページ、「郷土に関する資料の活用」となっております。歴史図書館でのアーカイブを公開した件数ということで、令和5年度は新たに目録2873件、画像データ11件をデジタルアーカイブで公開いたしました。令和5年の目標値72件に対しまして、475件ということで大幅に数値を上回っております。長年の課題でありました正保越後国絵図をはじめ、大型絵図4件のデジタル化と3点の原寸大のレプリカを作成がすることができまして、市民及び研究者の方に広く活用いただける環境整備を進めることができました。

今後につきましては、引き続き歴史資料のアーカイブ化を進めるとともに、正保越後国絵図などのレプリカを活用し、先日中学校やコミュニティセンターに出張出前講座ということで伺ったのですけれども、大変好評でした。こういったものの出前授業などで皆様に資料について周知したいなというふうに考えております。以上です。

○工藤教育長

教育委員の皆様から何か御質問ございましたらお願いいたします。

○石坂職務代理者

各課様々な施策について、目標に向かっていろいろ工夫して取り組んでいただき、成果を上げている様子がありました。ありがとうございます。

表で現状値というのがありますが、これは、令和元年度の実績値なのでしょう。

○橋本教育次長

私の方からお答えさせていただきます。各施策の現状値につきましては、令和元年度の数値となっております。まちづくり総合計画は計画期間が8年間の計画ということで策定をしており、4年に一度見直しを行っております。令和6年度から新たな総合計画がスタートしております。令和5年度は最終年度でありました。令和元年時点の数値をベースにして、令和2、3、4、5年の4か年の数値目標を設定して、毎年度評価をしてきたという経過がございます。以上であります。

○工藤教育長

石坂職務代理者よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。お気付きの点や御質問ありましたらお願いします。

○村川委員

取組みが様々なことがよくわかりました。私も図書館に2週間に1回ほど行くのですが、いつ行っても担当の方たちが笑顔で対応されていて利用しやすく、本の並べ方も見やすいような工夫が毎回されているので、図書館の利用者数をもっと伸びても良いのではないかなと思った次第です。高齢者が使いやすいように会議室等も整備されていて、よく利用させていただいています。

次に、学力向上に関しましてお聞きしたいことがございます。今後の取組として、認知能力検査を行うとありますが、小学校若しくは中学校のみで行うのか、それとも全ての小中学校で検査を行うということでしょうか。

○工藤教育長

彌源治学校教育課長お願いします。

○彌源治学校教育課長。

小中学校で行ってまいりたいと考えております。

○村川委員

これまで実施していなかったのですか。

○彌源治学校教育課長

認知能力検査につきましては、これまで実施している学校と実施していない学校があったという現状がありますので、全小中学校において実施し、現状分析、学習指導の改善等に生かしていきたいと思っております。

○村川委員

次に、学校教育の成果指標の現状分析のところ、個別最適な学びの充実化に向けて進めるためには認知能力検査等の必要性が高まるかと思うのですが、現在、個別最適な学びによる授業改善の達成度はどれくらいであると思っていられるのか、また、学力の向上については、新発田市としては危機的な状況だとのお話がありましたが、市全体の学力を高めていくためにどのような取組みをされているのか、今の現状、そして、これから行う認知能力テスト等も含めながら、具体的にどのような方向を考えていらっしゃるのかお聞かせください。

○工藤教育長

学校教育課長お願いいたします。

○彌源治学校教育課長

各学校において個別最適な学びの充実に向けて取り組んでおりますが、各校の取組みについての直接的なデータ等を取っているわけではございませんので、正確な状況や数値は申し上げられません。学校現場では、どのように取り組むかという試行錯誤はずっと続いている状況ですので、十分まだ行き届いた状態とは言えない状況であると思っております。その中で、特別な配慮や支援が必要なお子さんに対してしっかりと対応していくことはもちろんですが、通常の学級にいるお子さんについても、いろいろな課題を持っていたり、一見一緒に学習しているようでも、うまく学習ができていない状況もあるかもしれませんので、そのような課題に対応していくためにも、認知能力検査を活用していきたいと思っております。

全ての学年で行うというわけではございませんが、検査をした学年において分かったことを確認し、次の学年にも内容を伝えていくということが大事な事かと思っておりますので、一度実施したから、それで全てわかるというわけではございませんが、その中で認知能力の面でも問題点等が見つかれば早めに対応していきたいと思っております。以上、回答でございます。

○村川委員

認知能力検査とNRTを二つやっていくということになれば、相当の予算が掛かってくるのではないかと思います。数値だけではありませんけれども、現状分析はきちんとなされた上で、一人一人の学びを補償する個別最適な学びを実施してほしいと思いました。

2点目ですが、食育につきまして、私がインターネットで検索したところ、食育啓発リーフレットが大変よいものだと思います。これは、保護者へ紙ベースで配布されたと思うのですが、市民向けにはインターネットによる周知なのか、どのように周知されているのでしょうか。

○彌源治学校教育課長

保護者へは紙で配布いたしました。市民向けには紙による配布は行っておりませんので、ホームページを閲覧していただければと思っております。

○村川委員

日常的に子どもたちの傍にいる保護者や祖父母世代のような上の世代にとりましては、紙ベースも案外役立つと思います。大変よくできたリーフレットなので、回覧板等により各地域にも積極的に周知してほしいと思いますし、周知することにより子どもたちの朝食摂取率の向上に繋がることではないかと思いました。

もう一つ気がかりなのは、朝食を食べてこない子が全体の2割もいることが話題になっております。食事を作ってもらえない実態があるのか、その辺をどう考えているのか教えてください。

○彌源治学校教育課長

実際に朝食は作ってあるが食べる時間がない、または、体調面や寝不足等の理由で食べない等、いろんな状況があるかと思いますが、実際に朝食を作ってもらえないという情報がありましたら、その都度、家庭訪問や家庭への連絡を通して、必要に応じて、子ども課と連絡することもありまして、そのようなお子さんになるべくいないようにしたいと考えております。成果指標の実績値は、朝食を食べている子どもの割合のため、実際に朝食が作られていない等家庭の状況は数値として出ていませんが、朝食を作ってもらえない等の情報がある場合は、その都度関係課と連携しながら対応しているところでございます。

○笠原委員

先日インスタを見ていましたら、「はなかつぱ」を見に行ってきたとの投稿をされている方が結構いらっしゃって、やはりSNSを活用することは、若年層の皆さんや子どもと一緒に楽しむ活動にはとても効果的なのかなと感じました。また、インフルエンサーの方も今回投稿していたのですが、インフルエンサーの方は大変影響力がありますし、また、投稿されたものは何回でも見られますので、情報がどんどん広がっていきます。新発田市にも有名なインフルエンサーの方がいらっしゃいますので、そういう方とうまく連携を取り、PR活動をしていくことが、若年層の方への周知に繋がっていくのかなと非常に感じました。SNSは良い面もあれば悪い面もあると思うのですが、若い

子はSNSを活用して、こんな活動しているんだ、こんなことをしているんだという情報を知っているようですので、文化芸術に限らず、いろんな面で新発田市のよいところを発信していきたいと感じております。

○工藤教育長

ありがとうございました。このことについて宮崎課長から説明等ありますか。

○宮崎文化行政課長

ありがとうございます。文化講演等の周知方法について、「はなかつぱ」につきましては、幼児と小学生と保護者が対象ということで、紙ベースで周知をさせていただきました。SNSの活用については、先日、新発田城を佐渡金山の世界文化遺産登録を記念いたしまして黄色にライトアップしたのですが、SNSに新発田城の映え写真が投稿されていました。今おっしゃられたように、もう少し深掘りをして、直接インフルエンサーの方等に取り上げていただけるように工夫させていただきたいと思っておりますし、また、DX化として、今回の「はなかつぱ」につきましては、申込み手続きを全てQRコードで行い、アンケートの集計につきましても、紙ではなく、QRコードからアンケートに答える形で行いました。また、先日、本丸中学校生徒による新発田城の清掃につきましても、生徒のタブレット端末を用いて、QRコードからアンケートに答えてもらい、全アンケート結果を集計する等、少しずつではありますが、デジタル化の取組みを行っております。

○工藤教育長

ありがとうございました。他に委員の皆様のお気づきの点等ございましたら、御意見、御質問をいただければと思います。

○工藤教育長

御意見、御質問がないようですので、議第17号専決処分の承認について（令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検、評価等に関する議会への報告について）について、承認の方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、議第17号は、承認することに決しました。大変ありがとうございました。教育委員会もいろいろと多岐にわたるものがあり大変だと思いますが、それぞれ所管で課長等を中心に頑張ってくださいしております。今後もよろしくお願いいたします。

次に、議第18号専決処分の承認について（令和5年度新発田市一般会計決算について）審議を行います。橋本教育次長から説明をお願いします。

○橋本教育次長

議案については7ページとなります。内容につきましては、別冊の決算関係資料に基づいて説明させていただきます。委員の皆様方に配付している、令和5年度新発田市一般会計決算書と決算に係る主要施策の成果説明書、決算概要（ダイジェスト版）という

資料3つございますが、私の方から決算概要について、ダイジェスト版を用いて説明をさせていただきます。

決算概要（ダイジェスト版）の表紙をめくっていただきますと、1ページ目の上段の方になりますが、令和5年度決算概要ということで歳入歳出の総額の記載があります。歳入総額は499億1014万円、歳出総額は484億9639万円ということで、歳入は、対前年比で3.3%の減、歳出については、対前年比で1.7%の減という形になりました。要因といたしましては、記載の通りでございますが、令和5年度は少雪だったため、歳入は減少しております。歳出については、大規模事業である有機資源センターの長寿命化改修、教育委員会の川東中学校の大規模改修等が増えましたが、一方で令和4年度に実施した緊急経済対策の終了に伴い、トータルでは微減という形となりました。円グラフ左側が歳入であります。右の歳出の円グラフを御覧いただきたいと思っております。一番多いのが、民生費、次に総務費で3番目が教育費となっており、教育費は歳出全体の14.8%を占めておりました。

次に2ページ目ですが、こちらは特別会計と企業会計でありますので教育委員会の関係はございません。

めくっていただきまして、3ページは、新発田市民1人当たりには換算すると各費目どの程度使ったかという資料になります。左上から一番多く使った民生費、2番目が総務費で、先ほど申し上げました通り、3番目が教育費となっております。市民1人当たりには換算いたしますとプラス23.7%の増ということで、教育費については、令和5年度に大幅な伸びがあったという状況であります。各費目の支出額を約9万2000の人口で、割り返すと、3ページに記載の数値になるという資料であります。

最後に4ページであります。財政の指標でございますが、いわゆる財政が健全なのか悪化しているのか、それを判断する一つの目安となっております。いずれも健全化を判断する指標は、国が示す基準値の範囲内ということが決算で出ましたので、令和5年度は新発田市の一般会計の結果として、健全財政を維持できたと判断をしているところであります。なお、先ほど御承認いただきました、令和5年度の行政評価の結果、併せて令和5年度の決算の結果を踏まえて、今後議会での審議がありますが、令和7年度当初予算編成に向けて、行政評価結果、決算の結果を基に教育の充実に向けて、ハードソフトの両面からさらに充実を図られるよう、事務局としては努力を進めてまいりたいと考えております。説明は以上であります。

○工藤教育長

説明が終わりました。この件につきまして、皆様から御質問等ございましたらお願いいたします。

○工藤教育長

御意見、御質問がないようですので、議第18号 専決処分の承認について（令和5年度新発田市一般会計決算について）を承認される方の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、議第18号は承認することに決しました。

次に、議第19号 令和6年度全国学力学習状況調査結果の公表についての審議を行います。阿部教育センター長から説明をお願いいたします。

○阿部教育センター長

議案書の10ページを御覧ください。令和6年度全国学力・学習状況調査結果を公表することについての承認を求めるものであります。次の11ページから21ページの通り公表したいと考えておりますが、これから説明をいたしますのでよろしく御願いいたします。お示しした結果を御覧いただく際に、御承知おきいただきたいことがございます。平均正答率については、微小な差異は点数的に学力の違いを示すものではないという理由から、文部科学省は各都道府県、市町村ごとに提供されたデータを小数点以下は四捨五入して、整数にして提供しております。従いまして、県平均や全国平均との差についても、もし小数第1位までを見ることができた場合、全国との差は最大で0.5、県との差は最大で0.9という差が生じる可能性もあることをお含みいただきまして、報告を御覧いただければと思います。よろしく御願いいたします。

それでは初めに、11ページの「1 平均正答率の全体傾向」を御覧ください。小学校国語は県平均、全国平均を下回っております。全国平均を上回った学校は全体の約3割で、5校ということになります。小学校算数も県平均、全国平均を下回っております。全国平均を上回った学校は、約2割で3校でありました。中学校の国語です。県平均とは同等でありましたが、全国平均を下回っております。全国平均を上回った学校は全体の6割で6校です。中学校数学は、県平均、全国平均を下回っております。全国平均を上回った学校は全体の2割で2校でありました。正答数の分布は公表いたしません。小・中学校、教科別に、20ページ、21ページに掲載をいたしましたので参考に御覧いただきたいと思っております。学力分布の方は、小・中学校ともに全国と同様の傾向ではあります。小学校の国語、算数、また、中学校の国語につきましては、県や全国よりも上位層が少ないという結果でした。また、中学校の数学については、低学力層の底上げが必要であるという状況であります。

続きまして、「2 平均正答率の問題別傾向」を御覧ください。小・中学校ともに、全体的に県や全国平均を下回っている項目が多くございます。小学校の国語では、「書くこと」は県や全国平均を上回っておりますが、その他の項目は下回っております。特に「話すこと・聞くこと」は大きく下回っている状況です。小学校の算数では、「数と計算」、「変化と関係」が県や全国平均を大きく下回っております。また、観点別平均正答率、問題形式別正答率は、全体的に全国平均を大きく下回っている状況です。中学校の国語では、「我が国の言語文化に関する事項」が全国平均を大きく下回っております。中学校の数学では内容別平均正答率、観点別平均正答率、問題形式別正答率、全てが全体的に全国平均を大きく下回っている状況であります。

次に14ページの真ん中より下になりますが、「3 正答率が全国平均と比べて差が大きい問題」を御覧ください。小学校では5%以上上回った問題が国語で1問です。算数は5%以上上回った問題はありませんでした。5%以上下回った問題が国語で2問、算数では6問ありました。中学校では5%以上上回った問題が国語で1問あり、数学はありませんでした。5%以上下回った問題が、数学で5問あり、国語はありませんでした。

続いて17ページになります。「4 児童・生徒質問紙調査」を御覧ください。新発

田市の学校教育の指針に関する事項等の結果について掲載をしております。自尊感情や学校生活に対する満足度については、全国平均を上回っております。しかし、学習意欲については、小学校の国語で全国平均を上回っているものの、算数は大きく下回っております。中学校では数学は全国平均並みであります。国語は全国平均を大きく下回る結果となりました。

今後といたしましては、新発田市の現状の課題を踏まえ、次のような対策を行ってまいりたいと考えております。まずは、各校において細かい分析と課題解決のための取組み計画の策定を求め、今後の各学校への学力向上計画訪問の際に、その取組み計画に基づいた指導を行ってまいります。さらに、この10月に校長研修会を実施しまして、学力向上への取組みについて意見交換や情報交換を行うとともに、年度末にはその成果の検証を求めてまいります。また、学力向上担当者の研修会を実施し、各学校での取組みの参考とするために、下越地域の全国学力・学習状況調査の分析結果や対応策等を伝え、各学校の取組みに生かすこととしております。説明は以上です。

○工藤教育長

説明が終わりました皆様から御質問等ございましたらお願いいたします。村川委員お願いします。

○村川委員

19ページ、中学校のカ、「探求する活動や学び合いに対する意欲が高い」とありますが、児童・生徒質問紙調査の17ページの下から4つ目の質問のデータでしょうか。

○阿部教育センター長

はい、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか」という設問のデータになります。

○村川委員

私は大変素晴らしいなと思いました。まさに、個別最適な学びと協働的な学びが具現化されているということです。全国的にも昨年よりアップしているのですが、新発田市は昨年よりアップ率は低いもの子ども達は高い評価を挙げている、この結果を強く強調した方がよいと私は思います。学校生活に対する意欲も高いですね。19ページのオ、学習に対する意欲について、これは数学や国語が好きかどうかの調査結果から引っ張ってきていると思いますが、小学校の国語は全国平均を上回り、よいデータなのではないかと言えます。もう一つ、小学校と中学校の国語で全国より高いところがありました。私は素晴らしいことだと思って見たのですが、この二つとも全国的には非常に落ち込んだ部分ですね。これは探求する活動や学び合い、しばたの心継承プロジェクトに関わる取組みを頑張っている成果です。そこで活動した子どもたちが自分の思いを表出できるという、しばたの心継承プロジェクトによる取組みを行ったからこそ力がついたということじゃないかと思うので、学校差とか個人差もあるかもしれませんが、そのよい部分を強調してほしい。研修会等で共有したらどうかと思います。一言お話いたしました。以上です。

○工藤教育長

村川委員の優しい言葉によって救われますけれども、今ほどお話がありましたように、点数は低いけれども、子どもたちの関心・意欲、あるいは御指摘があった自尊感情や基本的なところが伸びているということは、先生が一生懸命子どもたちに接していることに間違いありません。ただし、問題を解く力や正答率を見てもみますと、分からないまま時間が過ぎてしまったのか、何も解答せず空欄のままテストを終えているものが多いようです。例えば、テストをする時に、問題を全部最後まで一通り目を通し、分からない問題は飛ばして分かるところから解いていくといった指導も実は必要なのですが、そういう細かなところについてもう一度実態把握をしていただき、指導することによって少し伸びていくのではないかなと思っていますので、村川委員のお褒めの言葉はセンター長に大変響いたのではないかと思います。ぜひ自信を持って今後も取り組んでいただきたいと思っています。

○村川委員

個性化を図るところは非常に頑張っているんじゃないかと思いますが、個別化がうまくいっていないのではないかと思います。自分の落ち込んだところを自分で調整しようとする態度とか、やはり時間がかかるのかもしれませんが、その辺については個別最適化を一つ一つされている中で、その兼ね合いをしっかりと個々に応じて考えてあげる必要があるのかなと思います。テストの解答に空欄が多いという話もありましたが、そういうところも含めてですが、個性化の部分は壊さないで欲しいなと強く思います。それが授業改善につながると思います。

○工藤教育長

有効な御指摘ありがとうございました。大変参考にさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。他に何か御質問等ありましたらお願いいたします。

石坂職務代理者。

○石坂職務代理者

なかなか学力は大変な部分もあります。どこも頑張っているのも非常に難しい分野ではありますが、いろいろな工夫をして取り組んでいただいている。さらに、教育長の話にもありましたけれども、さらに細かい分析、上位を上げるためにはどうするか、低位を上げるためにはどうするか等、大変でしょうけれども様々な工夫が必要だと思いますので、よろしくお願いたします。以前、私が学校を訪問していた時に、中学校もそうなんですけれども、特に小学校においてはアウトプットが少ないと、算数を中心に見ていたのですが、練習問題、類似問題をすごく丁寧にわかりやすいように授業をしているのはものすごく伝わってくるのですが、アウトプットが少ないというのが少し印象に残っていました。アウトプットが少ないと、どうしても紙のテストでは弱いところが出てくるので、その辺も必要なかなと個人的に学校を訪問して感じたことです。

それから、今の結果の公表について1点気になることがありまして、14ページの3番ですが、%の差を%で記載してあるのですが、これは表記を変えた方がよいと思います。いわゆる%の差はポイントという単位で表すのが一般的ですし、誤解を招かない表記になると思います。Webで公表する部分でもありますので、ここはポイントに直した方

が適正かなというふうに考えます。

○工藤教育長

大変有効な御指摘ありがとうございました。この件について意見等ございますか。阿部教育センター長。

○阿部教育センター長

ありがとうございました。問題分析等に関しましては、これからまた問題の方を確認しながら細かい分析をさらに行っていきたいと考えております。また、アウトプットすることに関しましても、今後学力向上計画訪問で各学校の指導をする際に、指導内容として取り入れていきたいと思っております。

また、今ほどの%表示がポイントというところはその通りだと思いますので、ポイントの方に変更して公表したいと思っております。ありがとうございました。

○工藤教育長

他にお気づきの点、御質問ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

○工藤教育長

教育委員の皆様からは大変参考になる御指摘をいただきました。ありがとうございます。

それでは他に御意見、御質問がないようですので、議第19号令和6年度全国学力学習状況調査結果の報告についての審議を終わりたいと思っております。皆様方から大変貴重な御意見をいただいたことに感謝を申し上げます。それでは議第19号につきまして、承認いただける委員の皆様の挙手をお願いいたします。

○工藤教育長

挙手全員でありますので、議第19号は承認することに決しました。ありがとうございました。次の「教育委員会・今後の日程（予定）」でもお話があるかと思いますが、教育委員の皆様におかれましては、学校を訪問し、授業を見ていただきますので、その際にも御意見をいただければと思っておりますのでよろしく申し上げます。

それでは、日程第5 その他に入ります。教育委員会・今後の日程について、坂上教育総務課長からお願いいたします。

○坂上教育総務課長

それでは、今後の日程について御説明いたします。最初に定例の教育委員会が10月2日、11月5日、12月3日に予定されております。また、先月の教育委員会でも発言させていただきましたけれども、11月8日に総合教育会議を計画しております。また、詳細が決まりましたら来月の教育委員会でお話させていただきたいと考えております。続いて学校訪問についてでございます。10月4日から始まります。10月4日につきましては、二葉小学校と七葉小学校で、給食は七葉小学校でとっていただきます。10月7日につきましては、川東小学校と本丸中学校で給食は本丸中学校、10月9日は豊浦小学校と豊浦中学校で給食は豊浦中学校、10月11日は東小学校と猿橋中学校

で給食は猿橋中学校でとっていただくことになります。最後、10月16日につきましては、外ヶ輪小学校と住吉小学校で給食は住吉小学校でとっていただくことになります。今後の日程は以上でございます。

○工藤教育長

説明が終わりました。この件につきまして委員の皆様から何か御質問等ございましたらお願いいたします。学校訪問が多く、10月はほとんど毎週のように来ていただくこととなります。日程調整が大変かと思えますけれども、できるだけ参加していただき、御指導いただければと思えますので、よろしくをお願いいたします。

御質問等がなければ、今後の予定につきましては説明の通りでございますので、よろしくをお願いいたします。また、出欠や配車等につきましては、阿部補佐と確認しながら調整していただければと思えますので、お願いいたします。それでは、その他の報告につきまして、事務局の方から何か報告ございますでしょうか。庭山中央図書館長お願いいたします。

○庭山中央図書館長

歴史図書館で行います令和6年度秋季企画展及び関連イベントについて御案内させていただきます。お配りいたしましたチラシを御覧ください。令和6年度秋季企画展国郡絵図の世界は、昨年度に作成しました正保越後国絵図の原寸大レプリカなどを前半と後半2回に分けて、歴史図書館展示室に広げて公開いたします。来場者は靴下着用で上に乗っていただきまして、絵図の大きさを実感しながら見ることができます。今も残る身近な集落や街道、川の流路の編成等を御覧いただけます。

次に裏面を御覧ください。この絵図に関連した歴史講演会や、場所を移しまして、蔵春閣2階大広間で特別公開を行います。お時間がございましたらぜひお越しください。説明は以上です。

○工藤教育長

ありがとうございます。私も見させていただきましても本当に圧巻で、素晴らしい作品が新発田市にはあったのだなと思えました。そして、本物を庭山館長に見せてもらいましたが、本当に保存が良く、色あせておらず素晴らしかったのですが、それを印刷したものであるのも、今から300年近く前でしょうか、その当時の絵図が本当に手に取るようにわかります。きっと多くの方に感動を届けるものとなっております。皆様も周りの方をお誘いいただければと思えます。PRをよろしくをお願いいたします。

他に何か事務局からありますか。宮崎文化行政課長お願いいたします。

○宮崎文化行政課長

以前、教育委員の皆様方にご案内させていただきました、小学校の教育鑑賞事業が来週ございまして、教育委員の皆様から参加いただけるということで、笠原委員におかれましては10日、11日は村川委員、石坂職務代理者に御出席いただけるとのこと、また、教育長におかれましては、11日に御出席いただけるということです。市民文化会館を会場に、今年は小学生の演目は「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」という人形劇を予定しておりますが、一緒に御覧いただきまして、何か御意見等ございましたら、後ほど私の方

に頂戴いただければと思います。お忙しい中ですが、よろしく願いいたします。

○工藤教育長

ありがとうございました。他の市町村ではなかなか予算がなくてはできないものではありますが、市、教育委員会、学校の御協力で、毎年子どもたちにビデオ等ではなく、本物を見ていただくことで大変好評のものでありますので、皆様よろしく願いいたします。他に何かありましたらお願いいたします。

それでは、委員の皆様から何か御意見、御質問ございましたらお願いいたします。笠原委員。

○笠原委員

新発田祭りの際に、しばたの心継承プロジェクトの一環として、中学生に朝の奉納台輪に参加していただきたいとのことで、各町内の方々が学校へ行って、案内をしていたようです。実際にうちの町内は両町ですけれども、両町の台輪には第一中学校の野球部の皆さん19名が参加し、朝の奉納台輪を大変盛り上げてくれました。

今は子どもの数が少なく、台輪のある町内の子だけの参加では足りなくなってきており、町内外の子どもたちにも参加を求めていかないと、なかなか伝統文化の継承が難しい状況になっていますので、中学校の子どもたちが参加してくれて、町内の方も執行部の方も非常に喜んでおりましたし、お祭り自体も大変盛り上がったというふうに思いました。

また、パレードの白天狗について、今年は中学3年生の女子から参加できるよう、対象年齢を下げたところ、かなりの数の参加希望者がいたとのことであり、一昨年は参加者不足で天狗が担げなかったけれども、今年は参加者が多く、担ぐことができたとの話も聞いております。

新発田の祭りは男のお祭りみたいな感じもありますが、パレードの白天狗で女の子も参加する等、盛り上がりを見せています。先ほどの全国学力・学習状況調査結果の児童・生徒質問紙調査にありました「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか」の項目において、小学生で5.1、中学校で2.7、全国よりも高いことからわかるように、子どもたちの方から地域をよくして、地域に参加したいという意欲が調査結果にも表れてきているのかなと感じました。来年度以降もまた台輪の参加を各学校に頼んでいくと聞いておりましたので報告いたします。

○工藤教育長

大変素晴らしい、嬉しい報告をありがとうございました。教育委員会でもコロナ禍前から学校の2学期の始業の日がバラバラだったのですが、子どもたちに地域のお祭りを継承してほしいという願いから、新発田祭りを盛り上げ、新発田祭りに参加できるよう全小中学校が協力し、始業式を9月にした経緯があります。要するに、新発田祭りの期間は学校を夏休みにして、子どもが参加しやすいようにとの考えで行った取組が少しずつ花開いてきているかなと大変嬉しく思いました。ありがとうございました。このことをまた学校の方にも情報提供していきたいと思っております。他にありますでしょうか。石坂職務代理者。

○石坂職務代理者

新潟日報の「きらきらキラリ」という投書のコーナーに、新発田市の小、中学生がたくさん取り上げられております。読む側としては、小学生、中学生がどんなことを考えているのかということが非常に分かり、いつも楽しみにしておりますし、やっぱり書いたものが新聞に掲載されると、子どもたちの励みにもなると思います。書くことの取組みとして、このような場を活用している先生方がおられ、非常によい取組みをされているなと思い感心して読ませていただいております。

○工藤教育長

貴重な御意見ありがとうございます。意見と言いますか感想ですけど、新聞に掲載されている新発田市の教員もいましたし、見える化の取組みをずっとやってきた効果が出てきていると感じています。特に学校では、意識的にいろんな行事を行う際には、マスコミにも一応お知らせをしています。取材に来なかったら残念ということではなく、たまたま取り上げてもらえたら嬉しいという形でやっていきたいと思います。ここ数年進めてきましたので、それも大変嬉しい成果かなと思います。みんなで成果を共有できれば、誇りにもなりますし、そういうものが相まっていい結果に繋がっているのかなと考えております。

○工藤教育長

委員の皆様から何かございましたらお願いします。

○工藤教育長

それでは以上で、教育委員会令和6年9月定例会を閉会いたします。

午前11時4分 閉会

令和6年9月6日

新発田市教育委員会教育長

委員